

日本の近現代文学の研究

研究者プロフィール

- ・ 教養教育センター 准教授 原 貴子
- ・ 分野：文学
- ・ 専門：日本の近現代文学
- ・ 所属学会：日本近代文学会、昭和文学会など

研究内容

明治期～現代に至るまでの日本の小説・詩歌を主な研究対象として、〈読み〉を基盤にしつつ、その特質と意義を追究しています。はじめに、テキストにおける語りのあり方や言葉と言葉の関係性を捉え、つぎに、小説・詩歌の外に出て歴史的社会的文脈を調査し、そこに接続することで、テキストの言葉の意味を論証することを試みています。



「写真版」『桃中軒雲右衛門氏（原色版）』
『演劇倶楽部』第1巻第1号 明治45年4月

例えば、最近では、森鷗外の小説「余興」を取り上げて、主人公が徹底して浪花節を嫌悪することが、大逆事件後の明治政府による風教政策に深く関わること、また、作中の浪曲師の描かれ方が、明治末期～大正初期の代表的な浪曲師であった桃中軒雲右衛門（左の画像）の表象、とりわけ風教政策も視野に入れた彼の目的意識と重なることなどを明らかにしました。

そして、森鷗外の小説「羽鳥千尋」に関する論文では、健康と財産を失って学歴を得ることができない青年が起死回生の手段として挑んだ医術開業試験の及第率、準備期間、勉強方法、志望動機を、医術開業試験を描いた10編以上の小説や文部省によるデータなどで調査をして、それと比較することで、主人公の特異性の内実に迫りました。

関連キーワード

小説、詩歌、テキスト分析、同時代コンテキスト

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

森鷗外や夏目漱石などの明治期の文学を中心に、現代に至るまでの作家や文学作品について、市民講座などで講師を務めることができるかと思います。

研究者への連絡先

ご連絡は、産学連携推進センターにお願いいたします。

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122